

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

### ～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

#### ＜本年度の学力向上基本方針＞

「言語活動」を豊かにする手立ての充実を各教科・領域等で実施し、基礎的な知識を備え、学びの技能を身につける。

#### 4月 学力向上目標①

さいたま市学習状況調査の国語・算数の平均正答率を、前年度の値より、3 p t 向上させた値にする。

#### ＜目標達成に向けた学力向上策＞

##### 策1

全学年で、週1回以上、系統性を意識したテーマを設定して、「短作文」を家庭学習で実施する。

開始期日

6月中

##### 具体的な手立て

- ・令和元年度さいたま市学習状況調査を分析し、実態を把握
- ・研究推進部で各学年に応じた「短作文」のテーマ例を作成(4月中)
- ・週末の金曜日に「お題」を提示し、水曜日までに教師がコメント等をつけて、児童及び家庭にフィードバックする。

#### 8月 策2

全校で「ノート検定」等(算数)を実施し、学習定着状況を客観的に子ども自身で把握できるようにする。

開始期日

2学期

##### 具体的な手立て

- ・学期に2回(学期はじめ、学期終わり)実施し、学期の学習の目的を子ども自身でもてるようにする。
- ・授業の45分を「はじめ」「なか」「おわり」に合わせたノートづくりができる。
- ・学習の過程が見えるようにし、その時間の課題と次時で学習が見通せる「ふりかえり」を書く。

#### 2月 本年度の振り返り

「短作文」を継続して、指導を行うことができた。その結果として、文章を書くことをこれまでより進んで行うようになった。  
学習の「ふりかえり」を意識して取り組んだことで、次の学習に向けた見通しがもてる。

達成度

85%

#### 3月 次年度の学力向上目標の柱・ポイント

- 漢字や計算の習熟の取り組み  
ドリルパークなどの習熟を意識的に取り入れ、漢字や計算が身に付けられるようにする。
- 「ふりかえり」の充実  
授業で「ふりかえり」を意識して行い、児童自身が学びの伸びとつまづきを把握して、学力の向上を図る。

4月

## 学力向上目標②

さいたま市学習状況調査の家庭学習の質問に対して肯定的な回答をした割合を前年度より3pt向上させた値にする。

## &lt;目標達成に向けた学力向上策&gt;

## 策1

各学年の発達段階に応じた家庭学習への取組を実施する。

開始期日

4月

## 具体的な手立て

- ・研修推進委員会と通じて、「家庭学習の手引き」や『読書貯金通帳』を発達段階に応じて作成し、家庭への啓発を進める。(4月中)
- ・学校ホームページに「学習チャレンジコーナー」を設け、家庭でも取り組めるようにする。
- ・自主学習のモデルを具体的に示す。(6月以降)

8月

## 策2

自ら進んで学習できるよう、自主学習ノートや『読書貯金通帳』を作成する。

開始期日

7~8月

## 具体的な手立て

- ・自主学習ノートを週1回、家庭で確認し、子どもの学習状況を把握する。
- ・「自主学習ノート」検定を学期に2回行い、課題となる部分を家庭にフィードバックする。
- ・『読書貯金通帳』をフィードバックしたり、読書の記録を学校に掲示したりする。

2月

## 本年度の振り返り

新型コロナによる臨時休校期間中でも、チャレンジコーナーや自主学習ノートを通じて児童の学びを止めない手立てをし、家庭での学習を進めることができた。

「読書貯金通帳」に取り組んだことで、たくさんの種類の本に親しむ児童が増えた。

達成度

80%

3月

## 次年度の学力向上目標の柱・ポイント

## ○図書室の活用

家庭での読書率を向上させるために、家庭にも貸し出しができるような方策を考える。

## ○異学年での学習形態づくり

異なる学年で学習を教えあう体制づくりを進める。